



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第468号 2019年9月1日発行

主がエリヤによって告げられた御言葉のとおり、壺の粉は尽きることなく、瓶の油もなくならなかった。

(列王記上17:16)

近年、大阪教区の各教会を含め、日本聖公会は大きく不安を抱き心配していると思います。2019年6月9日(聖霊降臨日)付の日本聖公会主催教会メッセージ「日本聖公会



宣教160周年を迎えて」の中では「信徒の高齢化、信徒数の減少、教役者不足、財政の逼迫など」が懸念されています。

確かに積極的な働きを続けるよう「信徒、教役者が主体的に丁寧な宣教・牧会を心掛けることを」とされていますが、主教会のメッセージには「同時にこの10年間で聖職者数や信徒数はさらに減少し

ています。特に聖職者数の減少は深刻であり、今後の各教区の在り方にも関わる課題です。」という大きな気掛かりが記されています。

解決策、あるいは方向性として、主教会メッセージには「現在の11教区制については、より積極的な意味での宣教体制の立て直しとして、その統合・再編成の議論を推し進めることも主教会に託された課

神様の豊かさを確信

司祭 ウイルソン ウォーレン

題であると考えています。」とあります。

確かに、「宣教体制の立て直し」が必要だと思います。そのために「統合・再編成」もあるかも知れません。しかし、ただの「リストラ」ではなく、尽くして純粋に神様に信頼し信仰心に基づき再出発すべきではありませんか。主教会もそのように言われています。『日本聖公会に連なる

わたしたちは、使徒たちに注がれたのと同じ聖霊に満たされ、慈しみと憐れみの神に信頼し、それぞれの場において主から託された使命を果たしてまいりましょう。』

では、私たちは具体的にどうすれば良いでしょうか。まず、神様を信頼することです。神様が今の教会に神様に望まれている礼拝・伝道・奉仕の務め(教会問答第33問参照)を果たすため、神様からの必要な手

段(時間、賜物、資金)が与えられている、又、必要な時に必ず与えられるという確信を持つことです。

冒頭の聖句ですが、預言者エリヤが神様に言われた通りにサレプタのやもめに養われる場面です。エリヤがやもめに、「パンも一切れ、手に持って来てください」と言った時、やもめは「あなたの神、主は生きておられます。わたしには焼いたパンなどありません。ただ壺の中に一握りの小麦粉と、瓶の中にわずかな

油があるだけです。わたしは二本の薪を拾って帰り、わたしとわたしの息子の食べ物を作るところです。わたしたちは、それを食べてしまえば、あとは死ぬのを待つばかりです。」(列王記上17:12)と答えました。しかし、その最後のものを譲ったら、奇跡的に「壺の粉は尽きることなく、瓶の油もなくなりました。」(列王記上17:16)

出エジプトのmanaにも、イエス様の大勢の群衆の養いにも同じような神様の働き方が見えます。

これが神様の働き方です。私たちが不足しているところが見えないところに神様の豊かさがあります。神様の望んでおられる働きのため、必ず神様が必要な手段を備えて下さいます。ですから、「統合・再編成」をするかしないかに関わりなく、神様から預かっている手段の棚卸しを先ず行い、礼拝と伝道と奉仕の業を励み行おうではありませんか!

(ういるそん うおーれん・芦屋聖マルコ教会牧師、愛光幼稚園園長)

大阪から今沖繩をどう考えるか

執事 ペテロ 金山 将司

去る6月21日(金)から24日(月)に沖繩週間の旅に参加しました。この旅は沖繩の問題について学び、沖繩の悲劇の歴史を学ぶ機会として毎年開催され、今回は沖繩戦や基地問題について実体験や学問的な観点から沖繩を知り、実際にその現場を見て参りました。私は今回自分がいかに沖繩でなにが起きているのかを知らないことに気がつきました。旅初日に講演いただいた沖繩国際大学教授の前泊博盛教授や、米軍基地をガイドしてくださいだった赤嶺和伸氏、沖

繩で暮らす兄弟達からお話をいただき、沖繩の抱える基地問題が、ただの政治問題ではないことを深く感じたのです。特にそれを感じたのは前泊教授が話された「沖繩で起きた問題を日本が調査できない」という点です。大学や小学校へ米軍のヘリが落ちて原因の追求も飛行停止もできない。本州では当たり前の命と権利を保障してもらえない状況にある。それが基地問題は右左などの政治的な話ではなく、人の命、当たり前の権利、日本の主権の問題である、と感じさせられました。



米軍のヘリが落ちた沖繩国際大学

最後にいろいろなお話を伺う中で、大阪の人間として印象的にも政治的にも沖繩に基地はなければならぬ、という発言を大阪の人がされたというお話です。米軍基地がひとつ

もない大阪の人間が、無関心に基地を沖繩に押しつけている。この現状を大阪のキリスト者としてどのように考える

べきなのか、祈りのうちに覚えたいと思います。
(かなやま まさし・恵我ノ 莊聖マタイ教会牧師補)

京都・大阪特別協働教区

合同教役者修養会

司祭 ヨシユア 原田 光雄

去る6月25日(火)から27日(木)、京都・大阪特別協働教区の合同教役者修養会が、和歌山市にある休暇村・紀州加太を会場・宿舎として開かれた。京都教区21人、大阪教区7人、合わせて部分参加を含め28人が参加した。

今回の学びの主題は「パレスチナ解放の神学」で、講師は岩城聰司祭。新刊、ナウム・アティーク司祭著『サビールの祈り パレスチナ解放の神学』(教文館)の訳者。世界のキリスト教界にはいまだ、イスラエル国家の建設をヘブライ語聖書(旧約聖書)の預言の成就として歓迎する向きがある。確かに旧約聖書には、敵対する他民族を絶滅



させるような命じる記事がある(申命記7:1-5他)。一方、自分たちの住んでいる土地を外国人にも嗣業として割り当て、外国人に自分たちと同じ資格を認めるような命じる記事もある(エゼキエル書47:21-23他)。

旧約聖書自体において、「民族的・排外的」な傾向と、「普遍的・包括的」な傾向、相対立する2つの考え方があり、すでに後者が前者を克服している、とアティーク司祭は言う。そして、キリスト者は当然のことながら、旧約聖書を読むとき、新約聖書、とりわけ福音書に記されたイエスの教えや生きざまによってその内容を受け止め、検証して、そのみ言葉としての真正性を判断しなければならぬ、と明言する。

修養会全体のプログラムはおおむね例年どおりで、両教区の主教や各委員会等からの報告やアピール、諸課題に関する意見交換などが行なわれた。

(はらた みつお・聖ルカ教会管理牧師、東光学園チャプレン)

主教主催黙想会に参加して

「イエス様と共に」

司祭 バルナバ 小林 聡

磯主教様主催の黙想会が7月17日(水)、18日(木)売布の宝塚黙想の家で行われ、14人が参加いたしました。黙想指導はカトリック大阪大司教区のアベイア補佐司教様でした。黙想はイエス様との出会いを通して、生活を整え、神様のみ旨を探し求め、必要な決断をするためのもので、

イエス様の内に留まるという祈りによって行われることを最初に心に留めました。そしてイエス様のお弟子さん達との出会い、関わり、派遣を辿りながら、私達もイエス様と共に歩んでいるということを抑り下げて頂きました。アベイア司教様の語られる言葉は非常に明確で、例えば福音と

はイエス様が共におられるということ、イエス様は心に響く言葉を語られたということ、共同体の中心は阻害された人々だということ、信徒養成は自分の言葉で信仰を語ることで、そして福音宣教とは教会を福音のルーツへ連れ戻すことだと語られました。特に私の心に響いているのは、不信仰で心が頑なになっていた弟子達が、イエス様の言葉や行い、疎外されていた人々との関わりの中で、感動したことは伝えることが出来た、それが福音宣教だと言われたこと

でした。だから安全なところから出かけて関わっていきましょと語られました。磯主教様も、閉会聖餐式でイエス様に変えられていく恵みが語られ、イエス様と共に歩むということが出来ました。福音の原点を黙想することが出来ました。(こばやし さとし・大阪聖パウロ教会牧師、聖贖主教会牧師、博愛社チャプレン)



前列中央がアベイア補佐司教



「最後までとわかっていたら」

あなたが眠りにつくのを 見ることが しっかりと抱きしめよう そして その人を愛していること

最後までとわかっていたら わたしは もっとちゃんとカバーをかけて 神様にその魂を守ってくださるよう

祈っただろう (中略) 「ごめんね」や「許してね」

だから 今日 「ありがとう」や「気にしないでね」を

伝える時を持とう そうすれば もし明日が来ないとしても あなたは今日を後悔しないだろうから (作・ノーマ・コーネット・マレック 訳・佐川 睦)

マレックは、1989年に10歳で亡くなった息子サムエルに捧げたこの詩を発表。9.11同時多発テロの後、彼女の詩がチェーンメールなどによって広まり、広く世界で知られるようになった詩だ。友人

のK牧師が逝去されたと言う報を受け取った時、偶然別の友人からこの詩を頂いた。その時内心ドキッとした。K牧師はガンとの闘いの中にあり、7月に会おうと約束していたが、とうとう会えなかったからだ。思いのほか早くガンが進行し、神様の御許に旅立ってしまった。葬送式では、彼が家族や教会の方々、同僚や後輩からどんなに愛されていたかがよく伝わってくる暖かい礼拝であったのでほっとしたが、しかしもっと早く会い

に行けばよかったと、後悔が残る。 ある教会のベストリーには、「これが最後の聖餐式だと思っただけに、自分の心構えの足りなさに反省させられる。同じように人との出会いも、大切にしなければと思う。最後までとわかっていたら」天に召された魂に、合掌。(主教アンデレ)

都市の中の緑豊かな教会前の中大江公園を眺めながら、毎朝小鳥のさえずりで見覚める静かな一日が始まります。緑の木々を眺めていて、ふと30年前の夏にアメリカ東部マサチューセッツ州にあるニューイングランド・バークシャーの森での光景を思い起こしました。

ボストン郊外の2つの青少年キャンプ場（正確にはマサチューセッツ&ロードアイランドYMCA）の所有・運営する広大な森の中のキャンプ場（男子はキャンプ・ベケット、女子はチームニー・コナース）という英国愛称のついた2つのキャンプ場でした。日本の組織キャンプとはずいぶん違う多様なプログラムが提供（例えばライフル射撃、乗馬、スキューバ・ダイビング）され、参加者が自由にプログラムを選択できるシステム、一人ひとりの自由を尊重した選択スタイルに最初はかなり安全性を含め困惑を覚えました。

今考えて見ると、自由と自己責任をベースにしたアメリカ思想が根底になっていたこ

聖職リレーエッセー 10



夏の思い出～バークシャーの森にて

司祭 ジョージ 林 正樹

とが理解できます。このキャンプ場を運営するYMCAはユダヤ系のスタッフが始めた

多様な文化を持つ国々との国際交流事業が中心とする小さな新興YMCAでした。創設者のドン・シエレンバーガーさんは現在の私と同じ年代で、すでに事業の後継者も決まったというお話でした。愛車のスポーツカーでバークシャーの森を疾走し、キャンプ施設やノーマン・ロックウェル美術館に立ち寄りしました。移動中には日本人指揮者・小澤征爾氏（当時はボストン交響楽団音楽監督）や夏の風物詩、映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズ率いるボストン・ポップスなどのカセットを聞きながら音楽談義を交わした若き日の貴重なひとときの体験でした。

（はやし・まさき 大阪聖ヨハネ教会牧師、社会福祉法人聖ヨハネ学園チャプレン）

※次回はヒューム ウィリアム ユーワン聖職候補生にお願いします。

大阪・京都特別協働教区運営委員会より

楕円を描きつつ

大阪教区主教 アンデレ 磯 晴久



朝日新聞2019年5月12日の天声人語に、「楕円（だえん）」のお話があり、興味深く読みました。その中で「ふつう円は一つの中心から描くが、楕円は定点を2つお

くのがポイントだ」とありました。やや複雑な定義ですが、辞書によれば、「円錐曲線の一つの。2定点からの距離の和が一定な点の軌跡」を「楕円」というのだそうです。ラグビーボールや木の葉など、世の中には楕円形のものがたくさんあります。今大阪教区と京

バルや合同礼拝、青少年活動では、思いを超えた喜びが与えられています。私たちは少々（かなり）いびつかもしれませんが、自分の教区という一つの中心を持つ円ではなく、お隣の教区というもう一つの中心と共存する楕円を描きながら歩んでいます。

今日本聖公会の教区・教会は、日本という非キリスト教国で、信徒・教役者の減少、高齢化、財政問題等々、大変苦戦を強いられています。単独の教区・教会だけでは運営できない危機的な状況も現われつつあります。宣教の活性化のために、新しい共同体の創出が必要です。ラグビーボールは楕円形ですので、どう転がるかわからない特性があります。しかし、神さまは必ず、時に応じて、わたしたちに知恵と理解、深慮と勇気の霊を与えて、ボールをキャッチさせてくださいます。（祈祷書293頁 堅信式）

遠くない将来に大阪教区・京都教区の統合・合併（トライ）が実現しますようにと祈りつつ。（いそ はるひさ）

超教派にて、ペンテコステ ヴイジル

ヤコブ 小出 裕司

第13回聖霊降臨日 前夕の礼拝 ペンテコステ ヴイジルが6月8日(土)カトリック今市教会にて行われました。主催はカトリック大阪大司教区・日本聖公会大阪教区・日本基督教団・日本福音ルーテル教会(後援)大阪キリスト教連合会。説教者は日本聖公会神戸教区小林尚明主教が担われました。



共同司式をしている各教派の代表

式次第はカトリック大阪大司教区が中心に作成されました。当日聖書朗読に用いられた箇所は、第1朗読…創世記11章1節〜9節、第2朗読…出エジプト記19章3節〜8節、16節〜20節、第3朗読…エゼキエル書37章1節〜14節、第4朗読…使徒言行録1章3節〜11節、12節〜18節、21節〜26節、2章1節〜4節、福音書はヨハネによる福音書7章37節〜39節でした。

第1朗読〜第4朗読後、詩編(典礼聖歌)が歌われました。今市教会の信徒の方が答唱を独唱され、その美しさに感動しました。いつも練習されているとのこと、礼拝時の歌の重要性を認識させられました。

他教派の人と一同に会し礼拝することがあまり有りませんので、こんな機会に参加しましょう。

今回守口聖オーガステイン教会の信徒方等が参加されま

した。参加人数91人、その内聖公会関係者は約10人。席上献金59,512円は「あしなが育英基金東日本大震災・津波遺児支援資金」に捧げら

祈りと証しの会

イサク 豊川 雅章

2019年6月24日(月)午後7時より、大阪聖パウロ教会において、大阪教区連合

男子会主催の第136回祈りと証しの会が、敬愛するペテロ竹林徑一司祭をお招きして開催されました。

開会祈祷・聖書朗読 ヲガラテアの信徒への手紙第6章1〜10節に続き、主教磯晴久師父が、「ペテロとアンデレの関係」とユーモアを交えて



れました。

今回は日本福音ルーテル教会が担当されます。(こいで・ひろし 大阪聖アンデレ教会信徒)

竹林司祭をご紹介くださいました。

竹林司祭は、ご自身の歩みを「霊に蒔いて刈り取る」をテーマにお話くださいました。関西学院大学の学生の時、チャペル礼拝に出席して、大学の一番大切なものがここに有ると感じたこと、そして川口基督教会の青年会の頃、信仰の仲間が相次いで死別された経験を話されました。

大阪YMCAに勤務し、経験と生涯の友を得ることができたが、キリスト教を学び直したいと聖公会神学院に入学されました。

既得の教員免許にさらに宗教科免許取得を目指し、上智大学の神学講座も同時に学ばれました。既にご家族を持つ

ておられたので、ご苦労は想像を超えるが、苦しくも楽しく充実した期間と話されました。

1986年芦屋聖マルコ教会、1988年プール学院教諭・チャプレン、1998年聖贖主教会牧師・博愛社チャプレン、2008年大阪聖アンデレ教会牧師・桃山学院教諭・チャプレン、2013年大阪聖ヨハネ教会牧師・聖ヨハネ学園チャプレン等を歴任されました。

2つの学校法人と2つの社会福祉法人のチャプレンをされた経験より、教会はチャプレンの働きの重要性を理解して、各施設に派遣してほしいと話されました。

また、聖書カフェや本の紹介等があり、司祭のお人柄が伝わり本当に心が温まる集会でした。

満堂の64人が集い、席上献金51,417円は聖ヨハネ学園のために捧げられました。神様の導きに感謝すると共に、竹林司祭のご健康とご活躍をお祈りいたします。(とよかわ・まさあき 大阪聖愛教会信徒)

日本聖公会婦人会 第26(定期) 総会報告

エリサベツ 山村 小夜子

去る6月12日(水)〜13日(木)、第26回日本聖公会婦人会総会が北関東教区の志木聖母教会において開催されました。北海道教区から(東京教区と九州教区を除く)沖繩教区までの代表者と役員を含め、出席者総数は100人でした。植松首座主教をはじめ、主教5人司祭11人と錚々たるメンバ

れ、愛される、と語られました。当日の信施はアルデイ・ナ・ウペポ(東アフリカの子どもを救う会)へ献げられました。礼拝後、総会に入り議事が進行されました。夜には夕食を共に囲み、バザーや懇親・懇談会が持たれました。ここ三年間本会を担当された北関東教区の役員の方々の充実感に満ち溢れ成し遂げられたお働きは、とても感慨深いものでした。

二日目は朝の礼拝・総会続行で開始され、20項目の議事(感謝箱献金先など)は全て可決されました。午後からの講演では、国連女性の地位委員会に参加された金子登美江さんとアルデイ・ナ・ウペポ現地コーディネーター／フオトグラファアの桜木奈央さんの貴重なお話を伺いました。そして閉会礼拝を経て総会は無事に終了しました。

今回、議案20号に基づいて時期会長選出教区の選挙が行われました。その結果、大阪教区は10年振りに選出され、神さまより重要なお役目を授かりました。二日間の私の体験は心に深く刻み込まれ、有意義な共有時間を持つことができました。主に感謝します。(やまむら・さよこ 川口基督教会信徒)



大阪教区 2019年 教区礼拝

さあ行こう 主に結ばれて

日時: 9月29日(日) 10:30~
場所: 川口基督教会(主教座聖堂)
司式・説教: アンデレ 磯 晴久 主教

昼食・午後のプログラムはありません。
礼拝中、別室での「キッズ広場」があります。

- 不測事態(台風等)の対応について
①当日朝7時の時点において、
警報(暴風雨)が大阪市に出されれば中止。
②当日JR(交通機関)が止まることが、
前日に決まれば中止。

日本聖公会大阪教区婦人会

秋の修養会

世界で一番たいせつなあなたへ
~ マザーテレサに学ぶ神様の愛 ~

日時: 2019年10月18日(金) 午後1時
(福音記者聖ルカ日)
場所: 日本聖公会 尼崎聖ステパノ教会
講師: 片柳弘史神父
(イエズス会司祭 カトリック宇部教会主任司祭)
献金先: 熊本 YMCA (震災復興活動への協力)

婦人会に限らず、男性の方もどなたでもご参加ください。

世界の窓

◎2020年のラ
ンベス会議

カンタベリー大
主教ジャステイ
ン・ウェルビー
(Justin Welby)
はアングリカン・
コミュニオンのす

べての首座主教宛の手紙の中
で、2020年のランベス会
議の参加者について、できる
だけ多くの主教が参加するの
が望ましいと書かれていまし
た。現時点では1000人の
主教とその配偶者が参加する
予定ですが、幾人かの主教は
会議への招待を断りました。
断った理由の一つは1998
年のランベス会議の決意1・
10、つまり人間の性的傾向に
関する決議とアングリカニズ
ムの本質について「誤った情
報がまたもや流れている」こ
とだとウェルビー大主教は主
張しました。ウェルビー大主
教によると、決意1・10には
人を討議から除外することは
一切含まれていません。また、
イングランド聖公会において
同性愛の結婚及び祝福は不可
能ですが、同性愛の人々の意
見や体験を聞かなければなら

ないとウェルビー大主教は書
いています。更に、Church
Times新聞のインタビュ
ーの中で、ケープタウン大主
教ターボ・マゴバ (Thabo
Makgoba) はすべての主教
が2020年のランベス会議
に参加することが望ましいと

述べました。アフリカの保守
的な団体GAFCONと北米
聖公会(ACNA)のメンバ
ーの主教たちも参加すること
が必要だと主張しました。ま
た、マゴバ大主教は「ポイコ
ットによって国々が自由を得
ることはありませんでした。
ポイコットは分離に油を注ぎ
ます」と述べました。

(Anglican Communion
News Service, July 1st,
2019)

◎世界的乳香不足

世界的乳香不足は香(イン
センス)の生産を脅かします。
教会において香を焚くこと
は、祈りが神様まで昇る、目
に見えるしるしと考えられま
すが、ボスウェリア属の木か
ら得る乳香は、牧畜と渾水と
紛争によって破壊されてきま
した。乳香はゴム樹脂で、香

の主な材料です。没薬と桂皮
と様々な自然油と乳香が混ざ
って香を生産します。一年に
おいて一つの木から3回乳香
を抽出することができ、乳香
を合計約3kg得ることがで
きます。けれども、Nature
Sustainability誌によると、
ボスウェリア属の若木の不足
によって、20年後には、乳香
の抽出は50%に減ります。人
口の増加と持続可能ではない
乳香の抽出によって、ボスウ
ェリア属の木の数が減少して
いるのです。

(Anglican Communion
News Service, July 19th,
2019)

邦訳：ヒューム ウィリアム
ユーワン 聖職候補生
(堺聖テモテ教会勤務、プ
ール学院中学校・高等学校・
短期大学チャプレン補、桃
山学院教育大学チャプレン
補)



大阪教区・京都教区合同礼拝

ともに祈る 2019 聖餐式

～イエスのまなざし～

日時：10月26日(土) 10:30～

場所：京都教区 聖アグネス教会

司式：ステパノ 高知 敬 主教
アンデレ 磯 晴久 主教

説教：パウロ 佐々木 道人 司祭

主催：大阪教区 宣教局 礼拝・音楽委員会
京都教区 宣教局 礼拝部

連合男子会

一日修養会

日時：2019年9月14日(土)
13:30～16:30

場所：川口基督教会

テーマ：「新教会設立に向かったの共同体の働き」
… 私たち今のままでいいでしょうか …

講師：ステパノ 卓志雄 司祭
(東京教区・インマヌエル新生教会)

教 区 の 動 き

常置委員会報告

6月20日(第10回定例)
7月24日(第11回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

*日本聖公会社会福祉連盟(聖社連)の大会が今秋予定されており、社会福祉の実践家糸賀一雄氏の働きを学び、また日本聖公会初代主教チャニング・ムーア・ウイリアムズ主教の足跡を学ぶ機会をもつ。

*聖公会神学院、ウイリアムス神学院では、来年は両校とも神学生が一人ずつになる由。神学教育に携わる人や特任聖職の育成が必要となっている状況。

*主教会において、来年以降各教区主教が定年を迎える状況下、今後教区主教を選任できるかが問われている。

*財政局で、特別財産勘定の

収支を明確にするべく、予算化の検討が行われている。

*教区墓地について、管理委員会の設置、委員選任、規則等の確認作業を進めている。

*9月14日(土)、川口基督

教会で開催される大阪教区連合男子会一日修養会に、東京教区インマヌエル新生教会の卓志雄(タク・ジウン)司祭を招き、講演を願っている。

II. 協議事項

*聖公会生野センターより、資金借入要請があり、対応について協議。

*加藤博道主教著の「み言葉の礼拝」を大阪教区として百冊注文し、要望のある教会に配布することを了承。

*総務局において9月29日(日)の教区礼拝について準備中。

台風等不測事態の対応については、当日朝7時の時点で警報(大雨・暴風)が出れば中止。また、J.Rが運休になる事が前日に決まれば中止と

する。信施の献げ先は「在日難民との共生ネットワーク(ラフィク)のため」、及び「聖公会生野センターの働きのため」とすることを確認。

*金山将司執事及びヒューム

ユーワン聖職候補生の聖職接手式挙行に関して協議。信施の献げ先は「ウイリアムス神学館のため」とすることを確認。

*京都教区とのハラスメント

防止研修会(10月22日(火))の共催に關しての確認。

*各教会の財政問題が深刻化しており、人事異動における

聖職への給与・手当等の在り方を改めて検討する必要性が喫緊の課題になっている。

*京都教区との合併を視野に、両教区で検討を加えることを確認。

(以上)

教会・施設の動き

大阪聖ヨハネ教会

○8月4日(日)～5日(月)恒例の夏の教会キャンプを聖ヨハネ学園学園生16人(小1～高3)と学園職員5人を招いて、総勢32人で淡路島にある「国立淡路青少年交流の家」

で2日間のときを過ごした。1日目は当教会での合同聖餐式でスタート、バスで教会を出発し、午後から工芸、自然観察、海水浴と盛りだくさんのプログラムを楽しんだ。最後は国民休暇村南淡路島で鳴門海峡を眺めながら温泉を満喫した。

このプログラムは11月10日(日)に行なわる「ヨハネまつり(教会バザー)」の収益金助成を受けて継続運営されている。

川口基督教会

○子どもワクワクオープンチャーチパイオルガンを体験しよう

8月3日(土)、子どもたちへの宣教の一環として「パイオルガンを体験しよう」と題したオープンチャーチが行われました。事前に募集した「試奏希望」の子どもたち6人とご家族が参加して、約1時間の楽しいひと時を過ごしました。前半はパイオルガンについてのお話と演奏を聴き、全員で歌も歌いました。後半は実際にパイオルガンに触れて音を出す体験と聖堂



パイオルガンの前で記念撮影

案内が行われ、子どもたちの笑顔あふれる夏のプログラムとなりました。

○水曜日 夜の聖餐式
2019年9月4日(水)
19:00
川口基督教会チャンセル

司式説教・柳時京司祭
どなたでもご参加できます。

特に代祷の部分では、参加者の方々のお祈りを分かち合い、共に祈ります。

○テノール、ソプラノとパイオルガンのコンサート
ラグビーワールドカップ前夜

公 示

救主降生 2019年9月1日
日本聖公会大阪教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

神のお許しがあれば、下記の通り聖職按手式を執行し、

執事 ペテロ 金山 将司

を公会の司祭に叙任し、

聖職候補生 ヒューム ウィリアム ユーワン

を公会の執事に叙任いたします。

主にある諸教会、兄弟姉妹の代禱をお願いいたします。
また、ご臨席いただければ幸甚に存じます。

記

日時 救主降生 2019年10月5日(土) 午後1時30分

式場 大阪聖愛教会

〒543-0052 大阪市天王寺区大道 3-3-20 電話 06-6771-4123

司式者 主教 アンデレ 磯 晴久

説教者 司祭 ヨハネ 黒田 裕 (京都教区・ウィリアムス神学館館長)

式典長 司祭 ジョイ 千松 清美

※祭色は「赤」を用います。

※式場は主教座聖堂(川口基督教会)ではありません。

祭「日英文化季間」公式イベント「英国音楽の夕べ」
9月7日(土) 午後5時開演
当日券3,000円(前売券2,500円)(全席自由)
主催/日英音楽協会

○2019年川口フェスタ&バザー
今年も「大阪生きた建築ミュージアム」の期間に合わせ開催します。
10月26日(土) 聖堂開放
10月27日(日) 13:30~14:00 聖堂案内(1回目)

14:00~15:00 川口チャペル・コンサート(パイプオルガン)
15:00~15:30 聖堂案内(2回目)
*同時時間帯に会館と庭ではバザーを実施します。

大阪教区・京都教区合同ハラスメント防止研修

心ゆたかに生きる共同体作りをめざす！研修会

日時：10月22日(火・祝) 10:00~16:00

場所：京都教区センター会議室

講師：金 香百合氏 (ホリスティック教育実践研究所所長)

参加費(昼食代含む)：京都・大阪教区の方 600円
その他の教区の方 2,600円

申込み：各教会に配布されている申込書を大阪教区事務局にFAXして下さい。食物アレルギーのある方は申込み用紙に記載して下さい。

締切り：10月15日(火)

問合せ：大阪教区事務局・牧会支援委員会

祝 受 洗



○堺聖テモテ教会
アンナ
(6月9日)
川村 明子

○西宮聖ペテロ教会
クララ
(8月1日)
芋田登美子

ホープ
高野ヴァレライン
愛ノ助
(8月4日)

祝 受 按



○大阪聖三一教会
バルナバ
(6月30日)
三宅 智也

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇ 9月11日 (水) 10時30分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者：ヤコブ 義平雅夫司祭

- 4日 執 事 ラザロ 布施 好古 (1938)
- 6日 主 教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945)
- 9日 司 祭 ジェームズ・J・チャプマン (1946 英)
- 11日 司 祭 チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド (1941 英)
- 12日 主 教 ヘンリー・エヴァントン (1912 英)
- 14日 宣教師 ドロシー・サローム・ワインウイelson (1963 英)
- 23日 主 教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973)
- 司 祭 ドナルド・F・ウインズロー (2000 米)
- 25日 司 祭 田中 正之助 (1927)
- 27日 宣教師 エルシー・メイ・ベイカー (1977 英)

◇ 10月9日 (水) 10時30分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者：テモテ 内田 望司祭

- 2日 司 祭 ジョージ・チャプマン (1940 英)
- 5日 司 祭 サムエル 福田光宏 (2013)
- 9日 主 教 ヨハネ 山田 襄 (1993)
- 12日 司 祭 マルコ 岡 精三 (1997)
- 16日 主 教 ペテロ 松井 米太郎 (1946)
- 主 教 サムエル・ヘーズレット (1947 英)
- 18日 司 祭 ステパノ 木庭 孫彦 (1928)
- 20日 司 祭 チャールズ・セオドア・ワレン (1949 英)
- 23日 司 祭 ステパノ 遠藤 敏雄 (1971)
- 24日 司 祭 深田 直太郎 (1945)
- 司 祭 ペテロ 横田 久明 (1995)
- 25日 宣教師 イブリン・アリス・レーン (1971 英)
- 29日 司 祭 セオドシアス・ステファンズ・ティング (1927 米)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。



お詫びと訂正
467号4頁の記事中、箭野眞理司祭の振り仮名が「まり」になっていましたが、正しくは「まこと」でした。お詫びして訂正いたします。

○西宮聖ペテロ教会
ホープ 竹内のぞみ (6月28日・71歳)
ドルカス 今中富美子 (7月26日・95歳)

○尼崎聖ステパノ教会
ヒカリ 上村 光 (6月26日・89歳)

祝初陪餐



○石橋聖トマス教会
オーガスチン 坪田 彪聖 (4月21日)

○大阪聖愛教会
マリヤ 山内 雅子 (8月1日・54歳)

○石橋聖トマス教会
ペテロ 藤木 一郎 (6月11日・92歳)

マリヤ 井脇紀久江 (7月6日・79歳)

アンナ 川村 明子 (6月9日)

○大阪城南キリスト教会
テテオユスト 金光 秀晃 (4月26日・77歳)

○聖ルシヤ教会
マリヤ 忠津 裕子 (4月18日・86歳)

○堺聖テモテ教会
マーガレット ヒューム 亜咲美 (6月9日)

魂の平安を
祈ります

○大阪聖三一教会
バルナバ 黒田有加里 (7月5日・48歳)

訃報

大阪教区退職司祭 ミカエル小崎清信師 (日本基督教団牧師) が7月23日 (火) に逝去されました (64歳)。前夜式 (通夜) は24日 (水) に、ご葬儀は25日 (木) に、

ともに日本基督教団大阪昭和教会にて執り行われました。召された魂のパラダイスにおける光明と平安、並びにご遺族への主の豊かな慰めが限りなくありますように、お祈りいたします。